



Rin Rin No.71



りんりん会報
(H25年1月)

～今年も…♪笑門来福♪♪…で!!～

平成25年は、暖かで穏やかな新年の幕開けとなりましたね。
今年も“笑う門には福来る”の言葉通りに、笑顔で暮らしていけたら…と思ひ、
昨年同様“笑門来福”のこたばを年頭にあげてみました。
勿論、この病気とのお付き合いの中で辛いことが全く無いわけではありませんが、
楽しいこと探しをしながらいっぱい笑って1年を過ごせたらいいな～と思っています。
程ほどに頑張りながら、ゆるゆるのんびり…今年もりんりんと一緒に!!



『第1回 With You 東北～あなたとフレステケアを考える会～』の報告です。

- * 昨年12/2(日)12:30～長陵会館(仙台)にて、『みんなで学ぼう 役立つ正しい情報を!』というテーマで、研修会が開催されました。患者・家族・医療関係者が同じ土俵で意見を語り合う会…という趣旨で、情報コーナー(ドクターや医療関係者の方々からの最新情報)グループワーク(12グループに分かれ、それぞれのテーマに沿って患者・医師・看護師の方々との意見交換)講演(講師:東北大・石田准教授)と盛りだくさんの内容で開催されましたが、たくさんの方々に参加され大盛況の中での研修会となりました。
- * 当日、実行委員である県内の乳腺専門医の先生方、看護師さん、その他の医療関係者の方々朝早くから会場準備をされていて、患者の為に動いてくださっているその姿に驚きと共に感謝の気持ちも強く感じました。(ちなみに、吉田先生も大勢のスタッフの中で動いていらっしゃったようでしたよ。)
- * りんりんの会からは8名、他に先生から直接パンフをいただいたので参加したという患者さんもありました。来年も開催予定だそうですので、今回機会を逃してしまった方、次回は是非、りんりんと一緒に参加しましょうね。

乳がん体験者の会『りんりんの会』平成25年1月～3月までの活動予定です!

◆ 1月26日(土): 定例茶話会(情報交換会・相談会)

★ 9時30分～市民病院1階・職員休憩室にて開催します。(参加費:300円)

◆ 2月23～24日(土・日): 温泉に入ろう会(一泊ツアー)

★ 鳴子観光ホテルを予定しています。(貸切風呂も予約済みです。)

★ 日帰り(入浴と食事のみ)を希望するかたも大歓迎。一緒に温泉に入ってホンワカあったまり、身体も心もしっかりと癒されて来ませんか?

※参加ご希望の方は、連絡窓口にお知らせください。申し込まれた方には、りんりんから電話を差し上げ、確認させていただきます。

◆ 3月23日(土): 定例茶話会(情報交換会・交流会)

※ 総会につきましては、4月20日(土)9時30分～職員休憩室にて開催予定です。

【連絡窓口】大崎市民病院相談支援センター ☎0229-23-3311

お雑煮

大崎市民病院 乳腺外科科長 吉田 龍一

遅ればせながら、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

もう、すっかり正月気分は抜けてしまいましたが、いいお正月を迎えられましたでしょうか。

さて、お正月といえばお雑煮ですね。我が家のお雑煮は、父の実家が塩竈のせいもあり、焼きハゼで出汁をとり、イクラ、芋がら、かまぼこ、カステラ、しらたき、セリ、凍み豆腐、そして焼いた切り餅と結構具たくさんなものです。お雑煮はご存じのように地方によってそれぞれ違うようで、調べてみるとなかなか面白いものです。東北地方だけでも地域によって全然違うようです。みなさん、やはり自分の実家のお雑煮を作っているのでしょうか、それともご主人の家のお雑煮でしょうか。私の妻は金沢の出ですが、あちらは昆布だしで丸餅一個というシンプルなものです。妻はこちらのお雑煮が気に入り、正月以外にも作ったりします。

全国的に出汁は鶏というところが多いようですが、香川は鯉出汁、長崎はアゴ出汁と地域性があります。そして具材もその地域の特産物が多いのではないのでしょうか。京都は西京味噌仕立てで大根や里芋を使った上品なものようですし、西日本の各地で旬の魚のプリを入れているところも多いようです。餅も、角か丸か、焼きか煮か、地域によって異なります。

昔と違って、日本全国どこに行っても、マクドナルドはあるし、コンビニもあります。今では、その地域特有の商店街、お店というものはどんどん廃れていき、全国どこに行っても街の風景や売っているものは同じようなものとなりました。そんな中、方言とお雑煮は地域性を保ったまま、決して全国一律とならない数少ない文化と言えるでしょう。

医療も昔は地域性があり、この病気なら〇〇病院、あの病気なら東京に行かなきゃと、特に都会と田舎では大きな差がありました。全国各都道府県に医科大学ができ、それぞれの地域で高度な医療を受けられるようになり、平均寿命も伸び、人は長生きして当たり前といった風潮の世の中になりました。今は特にがん治療は均てん化が進み、全国どこへ行っても同じような医療を受けることができるようになり、我が大崎市民病院でも大学病院やがんセンターと遜色ない治療ができるようになりました。

残さなければならない地方文化、地域文化はたくさんありますが、医療はむしろ逆方向、マクドナルドやコンビニと同じように、全国どこでも均一商品、均一料金という方向に向かっていきます。しかし、全国どこでも売ってはいませんが、カップラーメンなどは地域ごとに少し味を変えているそうです。医療も地域性が大切な部分もあります。都会のやり方をそのまま田舎に持ってきてもうまくいきません。新病院もハード面、医療水準は全国一律ですが、その中身は地域にあった医療を提供するにしたいと思います。穂波の郷に建設中の新病院は、徐々にその姿を現していきます。そして、完成した暁には、一定の医療水準を維持しつつ、大崎地方のお雑煮のような、他の地域とは違った暖かい医療を提供できればと思います。近々新病院が遠くからも見えるようになります。皆さんもヒマがあったら一度見に行ってみてください。

*** 会員の皆さんの声を募集しています！ ***

- * りんりん会報をいつもご愛読いただきまして、ありがとうございます。
吉田先生からの素敵なエッセー（随筆文）を始めとして、定例会の報告や最新情報をしっかりとお伝え出来る様に、毎回、試行錯誤しながら作成しております。今後、皆さんからの感想やご意見、近況報告、また、お知らせしたいこと等、会員の皆さんのいろいろな声と一緒に会報に掲載させていただき、もっともっと充実したものに変えて行きたいと考えています。匿名希望の方もOK。A4 サイズ用紙の半分が埋まる程度の文字数までなら大丈夫です。
- * 連絡窓口を通してりんりんまでお寄せください。お待ちしております！！ by りんりん事務局